

～1学期TFレター～

2024年度新学期がスタートし、新たな気持ちで新体制を迎えました。今年度よりT.F.レターは学期毎に行われた行事のご案内等を掲載致します。新しくなったT.F.レターを今後ともよろしくお願ひします。

代表からのご挨拶

父母代表 武田恵里子

昨年度は皆様のご協力のおかげでコロナ禍以前の全ての父母懇行事を開催することができました。どの行事にも、先生方をはじめ地域の皆さま、そしてOB父母の皆さまにご参加いただき、出会いやつながりの大切さを感じた一年となりました。今年度も「一人ぼっちな父母をつくらない」「私学助成の拡充」の理念を大切に、東海の教育環境を守るため父母懇ができる事を続けて参りたいと思います。

皆さまとのつながりを大切に、楽しい企画をたくさん用意しておりますので、引き続き皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

教員代表 笠行裕文

東海中高父母懇談会は1982年11月に、「子ども達の間らしい成長・発達を支えること」「公費助成をはじめ私学教育の発展の為に努力しあうこと」を目的として発足しました。父母・生徒・教員が手を取り合い、他の私学と協働で教育の場を豊かにする活動を積み重ね、42年目を迎えました。長年父母懇のバトンをつないでくださった先輩諸氏のご尽力に、改めて敬意を抱くと同時に深く感謝申し上げます。

東海の地域懇は愛知・岐阜・三重の28地域で開催されておりますが、2020年度から一昨年度までコロナ禍で諸活動が制限されるなか、感染防止対策を徹底しながら皆さまに有益な情報と語り合いの機会をお届けできるよう工夫を重ねてまいりました。そして昨年度は、コロナ禍からの復活と活性化を目指し、父母の皆さまが献身的に活動を盛り上げてくださったことで、コロナ禍以前のように多くの参加者が集うことができ、どこの会場でも充実した会となりました。参加された皆さまからは「参加して良かった」「いいお話が聞けた」「同じ悩みを共有でき安心した」などといった感想が多く出されています。地域懇を運営されている世話人の皆さまをはじめ、そこに参加して下さる全ての皆さまのおかげで地域懇は充実・発展し、東海の教育はさらに豊かになっていきます。

また、5月26日、第45回愛知県父母懇総会が行われ、東海中高からは、愛知県の私学で最も多い161名の方に参加していただきました。総会では、東海OBでもある愛知父母懇の日比野会長が、県議会各党団長が登壇するなか、「教育こそが、政策の最優先事項だ」ということを力強く訴えられました。充実した教育活動には欠かせない助成金の拡充に向けて、愛知私学全体で取り組んでいます。この県父母懇総会や請願署名、オータムフェスが代表的な取り組みです。現在、



私立学校経費の約半分は、国や県からの助成金で賄われています。東海を代表する市民参加行事「サタデープログラム」などの特色ある教育活動も、助成制度の恩恵を受けています。東海の特色ある教育を維持・発展させるうえで、この助成制度が大きな役割を果たしています。助成金の充実、子どもたちの教育環境を良くすることに直結します。

私学を選んでくれた生徒たちの笑顔をいつまでも守り抜き、輝く未来を保障すること、そして、彼らが安心して踏み出すことのできる社会をつくることは、私たち大人の責任であり、切なる願いです。こうした願いを実現するため、愛知の私学は手を取り合いながら、今までもさまざまな活動をしてきました。そして東海父母懇は、この運動全体を牽引する存在になっています。このような点をご理解いただき、今後とも父母懇活動へのご支援とご協力をよろしく願いをたします。

第43回 東海中高父母懇総会 (5/12)



曇天の中、800名を超える父母・教員・生徒の皆様にお集まりいただき開催されました。食堂では模擬店&制服バザーが企画され、父母懇サークル(かんげき、イデアール、テイスト)、地域懇(北、尾北、三重)、父母懇卒業事務局の心のこもった軽食や校章グッズ、リサイクル制服などが出品され、多くの方に楽しんでいただきました。

総会では、父母代表・教員代表・愛知父母懇より日比野久会長の挨拶に続いて、議案審査が行われ、すべての議案がご参加の皆さまの拍手によって承認されました。イデアールの合唱、オーケストラ部の演奏に続き、近藤校長先生にご挨拶いただき、教員紹介ではステージ前に約30名の先生方が一列に並び、紺野先生が各先生を紹介されました。

記念講演では、東海OBでピアニストと医学の二刀流の沢田蒼梧さんをお迎えし、「医師、そして、ピアニストへ」という題で、東海でのエピソードやピアノと勉強の両立の仕方、現在のご活躍の様子などをお話くださいました。講演の前にはピアノ演奏も披露してくださり、講堂中にショパンの素敵な音色が響き渡り、心地よい空間となりました。

最後に中1分散会・高1分散会が行われ、今年の春卒業したOBゲストに東海での充実した日々を語っていただきました。盛りだくさんの企画に参加された皆さんの笑顔があふれた一日となりました。

第1回文化講座 (6/30)

弓道体験が開催されました。あいにくの小雨でしたが、各自ご準備いただいた靴下を履き、いざ弓道場へ。4チームに分かれて湿気と熱気でむんむんの中、ゴザに座って開始を待ちました。

弓道部顧問の岡本憲幸先生からスライドで弓道のレクチャーを受けた後、同じく弓道部顧問の浅井泉英先生や弓道部員たちにもサポートしていただき、軍手をはめて体験スタート!

初めて弓と矢を触り扱いに苦戦されている方もいれば、久しぶりに弓に触られた方、現役の方やご家族でご参加の方など楽しみ方も多種多様でした。短時間ではありましたが弓道の魅力を感じていただけたご様子で、またやりたい!ぜひサークルを作って欲しい等嬉しいお声掛けもありました。

会の結びとして東海弓道部OBの両先生に実演していただきましたが、姿勢で凛とされて魅力倍増の上にあんなにも遠くから弓を引く、さすがの凄技に道場の空気がピリッと変わりました。的中の音はとても素敵でしびれました。



第35回愛知サマーセミナー開催!

7/13(土)・14(日)・15(月祝)の3日間、東海中学高等学校、近隣の愛知大学、筒井小学校、あずま中学校を会場として、第35回愛知サマーセミナーが開催されました。

「だれでも先生・だれでも生徒」というコンセプトのもと、13年ぶりのメイン会場校となった今年度は、東海生、教員、父母が一丸となり、多くの来場者をお招きすることができました。

《東海父母の皆さまによる講座のご紹介》

今年度も東海の先生、父母、生徒による講座が多数開催されましたが、実際に体験された方や、企画の運営に携わった方の感想をご紹介します。

☆足の不思議と身体の関係(足もみ健康

療法)☆

平松英子先生

サマーセミナーの初日に、平松英子先生を講師に迎えた「足の不思議と身体の関係(足もみ健康法)」の講座に参加しました。

前半は、先生の講義で身体の仕組みを学び、後半は足もみで血液循環を促す方法をマンツーマンで学びました。受講者は心も身体もポカポカになったと笑顔で話していました。



☆誰にでもできるレザーバーニング☆

堀江 均先生

日本ウッドバーニング協会会長の堀江均先生を講師に迎え、レザーバーニングの体験講座を受講しました。

初めに、丸や花に型どられた皮のキーホルダーから好きなものを選びます。私は息子に渡したかったので、片面に東海高校の校章が入った丸型のものを選びました。続いて、何も書いていない面に素敵なデザインのイニシャルをスタンプしていただき、いよいよレザーバーニングに挑戦です。

まずは練習用の革で電熱ペンの使い方を練習します。慣れてきたら、次は本番。押してあるスタンプの通りに、ゆっくりと革を焼いていきます。力加減によって濃くなったり薄くなったり、普段のペンとは違った手応えに、次第に楽しくなっていました。細かくて少し難しいところもありましたが、先生からのアドバイスをいただいて、無事に最後まで書き切ることができました。

仕上げに先生にニスを塗っていただき、かわいいタッセルも2色選んでつけていただきました。焼き色は均一にはなりませんが、世界で一つの作品のできあがりです。使っているうちに革の色合いも変わってくるそうなので、それも楽しみにしたいと思います。



☆北欧スタイルのかごとブローチ☆

高橋 麻衣香先生

3年連続開催している人気講座!スウェーデンハンドクラフト協会に所属していらっしゃる高橋先生を講師にお迎えし、北欧スタイルのかごとブローチ作りがサマセミ2日目7/14(日)の3限~4限に行われました。

材料は白樺の樹皮を使います。昨今、環境問題でプラスチックではなく木材のスプーンやフォークなどの使用が増えています。材料は樹木をスライスしている工場から廃材をわけていただいているそうです。樹木は様々な部分がクラフトの材料となることをお話いただきながら先生と一緒に楽しみ、時には考えながら編んでいき、完成した時は皆さんの表情が笑顔と達成感に満ち溢れていました。

普段なかなか機会のないことを体験できるサマセミナーは最高だな、と改めて思いました。



☆ドライフラワー・ミニブーケフラワー

ケーキ☆

西村 幸子先生

サマーセミナー2日目。東海中高父母懇 OB の西村先生を講師に迎え、パステルカラーのドライフラワーを使って、今人気の韓国風のフラワーケーキやブーケを作成しました。

お子さん連れのご家族やお友達同士で参加された方々などで大盛況でした。男の子も数名参加し、ママへのプレゼントにすると話してくれたのがとても印象的でした。

先生方の丁寧なサポートで、皆さまステキな仕上がりになり、教室に笑顔が溢れていました。



☆リリカルカラーセラピー☆

高橋千佳子先生

サマーセミナー初日、東海 OBお母様の高橋千佳子先生を講師に迎え、リリカルカラーセラピーの講座に参加しました。

マンツーマン形式で、何を話しても優しい微笑みで全てを包み込んでくださる空気感の中、横並びにセットされた綺麗な10色の小瓶の中から数本思いのままに選びました。

その色の持つ意味を先生がお話して下さったのですが、自身の感情や心の状態にピッタリと当てはまっていたことにとても驚きました。

深層心理が知れてより良く生きるヒントも見つかり、スッキリした気持ちで会場の書道教室をあとにしました。



☆身体の軸を整えるウォーキング☆

遥 知子先生

美しく歩くことが心身の健康や内面の美しさに繋がるという考えに興味を持ち、講座に参加しました。

まずは普段の歩き方の動画撮影。次に先生から綺麗に歩くための3ステップを学び、皆でウォーキングの練習をしました。個別の立ち姿勢チェックでは、改善点を丁寧に教えていただきました。最後にもう一度歩く姿の撮影をし、動画で変化を確認しました。

颯爽と歩く自分達の姿を見て、少し意識を変えるだけでこれほど印象が変わるものかと効果の大きさに驚きました。他の参加者も一様に自身の変化を喜んでおられました。歩くという何気ない動作がとても奥深く感じられ、楽しくて有益な講座でした。



☆花のクレセントリース☆

渡邊 彩嶺先生

サマセミ最終日、先生のお庭に咲いたフレッシュな可愛い紫陽花をメインにした"花のクレセントリース"講座が開催されました。

小学生や女子高生、父母はもちろん男子高校生の参加もあり、あっという間に満席になりました。

まずはお好きな色味に合わせて先生がお花をセレクトしてくれます。次にリースの土台にワイヤーを巻きつけていきます。皆さま、地道な作業ですが、要になる大事な行程を真剣に取り組んでおられました。続いて、リースの土台に花材を差し込みながら、三日月型になるように覆っていく作業は楽しい時間でした。自由に思いついたイメージしたものを、形にしていけます。グリーン系、ピンク系、ブルー系とある紫陽花をバランスよく配置して、アクセントにはスターチスや動きのある羽をあしらいながら、最後はリボンをつけて完成です。

各々の個性が溢れる素敵なリースが出来上がりました。皆様、最後まで集中して取り組まれ、達成感と笑顔でいっぱいでした。賑やかで華やかな時間を私たちと一緒に味わいながら、参加された皆様に喜んでいただくことができました。ご参加いただきました皆様、彩嶺先生ありがとうございました。



事務局を“卒業”する先輩からのメッセージ

【卒業父母 小林史恵さん】

「心に太陽を持って」

ツェーザル・フライシュレン(山本有三訳)

心に太陽を持って。あらしが ふこうと、ふぶきが こようと、天には黒くも、地には争いか絶えな
かろうと、いつも、心に太陽を持って。くちびるに歌を持って、軽く、ほがらかに。自分のつとめ、
自分のくらしに、よしや苦勞が絶えなかろうと、いつも、くちびるに歌を持って。苦しんでいる人、なやんでいる人には、こう、
はげましてやろう。勇気を失うな。くちびるに歌を持って。心に太陽を持って。

事務局はもちろんのこと、父母懇や東海に携わる多くの方々の太陽のおかげで、私の心は随分あたたかくなりました。
皆さんの太陽に「ありがとう!」と言いたい気持ちでいっぱいです。



【卒業父母 西村めぐみさん】



3年間お世話になりました。事務局のお誘いをいただいた時は、こんな私でもお役に立て
ればとお引き受けしたのですが、父母懇行事の規模の大きさに驚き、お母様方のスキルの高
さに感動しました。どの行事でも細やかな心遣いと熱量を持って、より良いものにしようと取り
組む姿勢に、「本当に素人のボランティア集団なの!？」と圧倒されました。先生方もとてもフレ
ンドリーで面白く、気さくに声をかけてくださるので、和やかな雰囲気でも活動できるのも先生
方のお陰だと感謝しています。行事を担当した際は、たくさんの方に励ましや応援、ご協力い
ただけたことは本当に嬉しかったです。こんな充実した経験ができた私は幸運だと思います。事務局を通して出会っ
たすべての方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

【卒業父母 戸谷奈里さん】

初めは知り合いもおらず緊張と不安ばかりでしたが、積極的に役員会や様々な行事に参
加していくうちにみなさんとの活動が楽しくなっていました。

一緒に沢山の行事に参加して気を許せる仲間になり、子どもとは関係なく築いた関係は私
の人生の財産となりました。

父母懇文化講座、サマーセミナー講座などたくさんの初体験を通し知見を広げる事がで
き、1日研修やバスハイクではおもてなしの心を学ぶ事ができました。私の人生を豊かにして
くれたこの3年間に感謝です。

これからもこの経験を大切に、初めてを恐れずガンガンチャレンジしていきたいと思
います。みなさんも積極的に初めてにチャレンジしてみてください。楽しい世界が広がって
ます!





「蜘蛛の恩返し」 by 芥川龍之

編集後記

サマセミで着た東海カラーのTシャツ。後ろには、東海の教育目標「勤儉誠実」の文字。今、まさに4年振りのオリンピックが開催されている。平和と、人間育成を目標にしているオリンピックは、どこか東海の理念に似ていると感じながら、東海生も自分に負けない様、日々豊かに過ごしてほしいと願っています。

広報部